

## 8. 舞鶴市木船家文書調査

井上 泰良

昨年度に引き続き、2022年度も文化情報学研究室では、舞鶴市郷土資料館の小室智子氏や舞鶴地方史研究会のみなさんと共同で、木船家文書調査を実施した。本調査は舞鶴市郷土資料館において、舞鶴市・舞鶴地方史研究会などと連携し、2013年から継続しているものである。

木船家文書は、舞鶴市溝尻地区の大庄屋を務めていた木船家に伝来する近世から近代にかけての約9,000点の文書群である。

調査内容は文書の現状を記録する写真撮影、文書に番号を付与するラベル貼り、一点一点の文書の目録作成の大きく3つに分けられる。今年度は写真撮影が完了した。今後も継続して目録作成を進めていき、それらの成果を発表していきたい。

調査日程 2022年6月18日・19日、7月17日・18日、9月23日・24日、  
10月16日・17日、11月12日・13日  
2023年2月18日・19日、3月4日・5日

調査参加者 東昇（教員）、有賀陽平（神戸市文化スポーツ局文化財課）、滝澤和湖（博士前期課程2回生）、正瑞千幸、長谷川巴南（以上、博士前期課程1回生）、鈴木詩織、吉富絵音（以上、4回生）、井上泰良、今関航士朗、武田知奈、谷澤洋祐、渡邊幸奈（以上、3回生）



写真1 写真撮影の様子



写真2 目録作成の様子

#### 編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱いは、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

---

京都府立大学文学部歴史学科

## フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2

---